

□プロログ.wav

(正面 中距離 普通の声)

おかえりなさい。こんばんわはじめましてー。

なーんちゃって、どうせこの人も気づかないんだろうなー。

何のイタズラをしようとしても何も起きないし、ぺたぺた触っても何も気づかないわけ。

……？

あれ？

ねえ、なんで固まってるの？

(左 密着 囁き)

もしもーし。着替えないのー？ 手は洗わないの？

君、いつもそんなぼかんとした表

(左近め 普通の声)

うわ！？ びっくりした！？ 急にびくってしないでよ！ こっちもびっくりするから

やめてよ！？

……聞こえてるの？

□おしゃべりしてくる日、作業のじゃま.wav

（左後ろ 中距離 普通の声）

あ。

何やってるの？

……作業してるんだ。

へっへっへー邪魔しちゃうぞー

ぎゅーっ

（右 密着 囁き）

いつも通り、作業に集中できるように、わたしが面白いお話してあげるね。

（耳にキス）

（耳ふー）

（耳舐め10秒）

（左 密着 半分囁き、半分普通の声）

まずは挨拶の耳ちゅーから。

さっきもちゅと遊んでただけだね、猫ちゃんっているでしょ？ 町中に。

あの子達、実はわたしのことが見えてるっぽいんだよ。
目で追ってくるんだよね。

（耳舐め5秒）

でもね、多分完全に見えてるというか、完全に認識できてるわけじゃないんだろうね。
なでなでしようとする……

（耳舐め3秒）

当然みたいにすり抜けるんだけど、

(耳ふー)

(耳舐め3秒)

そしたらさ、すごい顔してこっちを見るの。

なんか、やべーのがある！！　って感じの目。

可愛いんだよお。

(一度だけ耳舐め)

でも、何度も考えてるんだけど、わたしの姿ってどう見えてるんだろうね。

人の姿が見えてたら逃げ出すはずだから。
謎。

猫でも腰が抜けるくらいオバケみたいに見えてるとしたら、ちょっとショックだなく。

そうだ、聞いたことあったっけ？

貴方は猫派？　犬派？

待って！　当ててみる。

(耳舐め6秒)

うーん……

(耳舐め20秒)

(普通の声、小声)

ところで、最近ご飯がすごく美味しく感じるんだ。季節が変わってるからかな？
いつも小皿にとってくれるわたしの分、いつもすごく美味しいんだよ。

(耳舐め3秒)

いつもこれ言々と笑うけどさ、貴方が最初にわたしのために盛り付けてくれた時、
本当に久々にご飯を食べたんだからね。

(右 密着 に向けて移動しながら)

貴方の味を覚えた以上、もうこの家から離れられない。

(囁き声)

責任取ってよね…。

(耳舐め5秒)

責任。せーきにん。

わたしを餌付けした責任。

(耳にキス)

(半分囁き、半分普通の声)

代わりになんでもしてあげる。

(耳にキス)

なんでも。

(耳にキス) (耳ふー)

(囁き声)

なんでも。

(普通の声)

できないことは多いけど。

(耳舐め3秒)

あーあ作業で何か手伝えたらな。

お茶も汲めないし。

(半分囁き、半分普通の声)

そういえば、烏龍茶と緑茶と紅茶って全部原料一緒らしいね。
全然味違ったと思うんだけど、不思議だよね。

死ぬ前のことはちゃんと覚えてないんだけど、

牛乳どばどばに入れて、砂糖もザカザカ入れて、ぐいっと飲むのが美味しかったのは覚えてる。

甘党なんだよね。

そういうわけで、明日のアイスはミルクティー味を希望します。
お代は：

(囁き)

体で払います。

ふふっ。

(耳ふー)

ちゃんと集中できてる？ 耳弱いのに。

作業中誰かが話していると集中できなくて言ってたけど、本当？

わたし、図書館とかだと全く集中できないんだけどなあ。

(耳舐め10秒)

(左 密着)

授業とかもきつい。

最近暇すぎて、近所の学校で授業受けたりしてるんだけどね、子供の頃ってよくあれで集中できたよね。

(ある程度、本当にビビっている感じで) うう、この年になったらもう絶対にムリ。

トイレに行くにも許可がいるなんて、なんらかの犯罪だよ。怖いよ。

…他にやりやうがないんだろうな。物事教わる場所って。

子供は大変だよな。大人も大変だけど。

(耳舐め3秒)

うーん。

カフェで作業とかしてる人いるし、わたしのほうが少数派なのかな。
アンケートとか取ってみたいね。

(耳舐め20秒)

そういえば、一人だと独り言が増えてるものみたいんだけど、
貴方って独り言少ないほうだね。

（耳舐め3秒）

（半分囁き）

この家に住み着くまで、別にいいかと思っていろいろ家に不法侵入してたんだけどね。
すごい人は本当に凄いよ。
自分の行動を全部口で解説してたりしてたよ。

（耳舐め5秒）

って……そっか。

わたしがいるから貴方は一人じゃないんだっけ。

って、そうか。

だったら、一人なら貴方の独り言が増えるかどうか、わたしが消えてみないとわからない。

貴方との日々楽しかったよ……。

さよなら……今日までありがとう……。

（約8秒の間）

（右 密着 囁き声）

（5秒耳舐め。じゅぼじゅぼ耳の穴に出し入れするような音）

あはは。びくってした。

可愛い……。

（普通の声）

ふふ……なんか今の様子を見てたら本気で作業のじゃましたくなってきた。
見せますか。

耳舐め幽霊レイコちゃん、その本気の耳舐めを――

(右 中距離)

い、痛い痛い。
冗談だって。

(右 遠め)

あ、やだ。追い出さないで。

あー。

ごめんなさい……。

また、しばらくしたら様子見に来るからね。

休憩取ってなかったら無理やり休憩させるから。

ファイト！ わたしがついてる！！

□なんでもない日.wav

(正面 近距離)

むらむらしたの？

オナニー手伝おうか？

(右 密着 囁き声)

(はむつと耳を唇で挟む)

準備はおーけー？

ちゃんと興奮してる？

オナニー、始めよつか。耳、ぺろぺろするね？

(耳舐め20秒)

手、動いてる。気持ちいい？

(左 密着)

気持ちいいなら、喘ぎ声を出してもいいよ。

喘ぎ声が恥ずかしいなら、吐息を出すだけでもいいよ。

貴方のエッチな声、聞けると安心する。

(耳にキス)

(耳舐め60秒)

わたしに耳を舐められながら、

(耳舐め2秒)

おちんちんシコシコして、

(耳舐め2秒)

はあはあ言って。

(耳舐め20秒)

(右 密着)

恥ずかしがらなくてもいいよ。

オナニー手伝うってゆったでしょ？

手伝われてる側なんだから、全部見せちゃえばいいの。

全身の力を全部抜いて、気持ちいいことだけに集中して、おちんちんの先っぽからジワジワお漏らししながら、

ただただ、おちんちんをすごいて？

しーこ、しーこ、しーこ。

えへへ。気持ちよさそう。

お手伝いさんとして鼻が高いよ。

(耳舐め200秒)

そうだ。

ここらで一つ、遊びを提案します。

いい？ よく聞いてね。

おちんちんのことは一切考えちゃダメ。

耳の刺激だけに集中して。

あ、おちんちんシコシコは続けていいよ。

でも、おちんちんで気持ちよくなっちゃダメ。

気持ちよくなりそうだったら必死に耳に気をそらすの。

耳をべろべろしてるのだけに集中して？

（左 密着）

大体失礼だよ。わたしがせっかくオナニー手伝ってあげてるのに。

（耳舐め3秒）

おちんちんで気持ちよくなっちゃダメ。

（耳舐め3秒）

おちんちんの快感に負けたらダメ。

（耳舐め3秒）

おちんちん以外に集中して？

（右 密着）

（耳舐め3秒）

耳に集中して。おちんちんのこととは絶対に考えないで？

（耳舐め5秒）

ましてや、さいつこうに気持ちいい射精のことなんて、ぜーったいに考えたらダメだよ。今のタイミングで一度射精のことを考えたら、最高に気持ちいい射精をすること以外、なんにも考えられなくなっちゃうからね。

（囁き声）

射精。精液。いく。

（耳舐め20秒）

気持ちいいんだろーなあ。耳の中全部舐め上げられながら、全部、全部、精液出すの。びゅーびゅーって。

でも、ダメ。考えちゃダメ。ぜーったいに考えちゃダメ。

（耳舐め15秒）

射精する時は、おちんちんが一番気持ちいいところを、浅く速くしごいて、おちんちんがビリビリしびれて、

もう射精すること以外何もかもわからなくなって……

なんて、考えちゃダメだよ。

一度考えたら頭から離れなくなるからね。

（耳舐め20秒）

射精したら、出したばかりのすごく濃い精液を、わたしに飲んでほしい？

いいよー。精液の味は、味がないのに生っぽくて、喉に引つかかる感じがするけど……。

貴方の精液なら、頼まれたら、また飲むよ。

その大きなおちんちんからびゅーびゅー出した精液を、太げさに、ごくごく、美味しそうに、飲む。

全部。貴方の精液をお腹の中で受け止めるよ。

……なんて、そんなこと考えちゃぜったいにダメ。

(耳舐め80秒)

そうだ。今回ちゃんとおちんちんのこと考えないでいられたら、

今後生活の中で、いつでもオナニーしていいよ。

顔は自分じゃわかんないけど、わたし、おっぱいの大きさは自信ある。

食事してる時とか、本読んでる時とか、一緒に寝てる時とか、

わたしの体を見ながら、

とうとうにおちんちん出してしごいていいよ。

どんな時でも、わたしを使ってオナニーしていいよ。

だからおちんちんのことを考えちゃダメ。

(耳舐め20秒)

(左 密着)

(いたずらっぽく、甘い声で) もう。なんでおちんちん気持ちよさそうにしてるの？

ダメって言ってるのに。

ふふっ。冗談冗談。

これだけ念入りに意識するなって言われて、意識しないのはムリだよ。

(はむっと耳を唇で挟む)

(耳舐め20秒 ラッシュをかけるみたいに激しく)

(耳にキス)

(一瞬だけ耳舐め)

……そろそろ？

いいよ。出して？

カウントダウンは要る？

いいよ。貴方が一番気持ちよくなれるようにするよ。
必要なら……両乳首とか、いじってあげるよ。

（普通の声）

カウントします。

（右 密着 囁き声）

さーん。

（耳舐め3秒）
にーい。

（左 密着）

いーち。

（耳舐め3秒）

ゼロつ。

びゅーびゅー

びゅー、びゅー……

出して、出して。全部。ぜーんぶ。

全身の力を抜いて。蛇口をちよつとだけ開けたみたいに、とぶ、とぶ、とぶ……。とぶ……。

（耳舐め6秒）

気持ちいい顔してる。快感が落ち着くまで舐めてあげるね。

もう一度おちんちんしごいてイってもいいよ。

（吐息多めで、耳舐め25秒）

（最後に耳にキス）

（半分囁き、半分普通の超え）

えへへ、気持ちよかった？

オナニーの手伝い終わり。

手コキ？　口で？　しないよ。しない。
わたしと結婚してくれるんだっいたらいいよ。

（普通の声）

よしっ

ほらほら、次にやることやろー。
何する？

□ 添い寝してくれる日.wav

(正面 中距離 普通の声)
一人で寝るのがいや？
添い寝してほしい？

いいよー。ばっちりだよー。

(右 近距離) (囁き声)
お邪魔しまーす。

(右 密着)
では早速……ぎゅー。
ぎゅー……。

あー……生き返る。
え？ 暑苦しい？ 失礼だな。じゃあ、もつとぎゅーつてする。
どこにも行けないように。

で、ぎゅってしたまま、

(耳ふー)

えっちの時とは違って、優しく耳をいじめてあげる。
力を抜いて耳だけに集中したら、すぐに寝られるように。

(耳舐め10秒)

添い寝っていいよね。
一人だった頃、どうやって寝たかもう覚えてないや。
そもそも、寝てたつけ、わたし？
幽霊って寝る必要があるのかよくわからないし。

(耳舐め10秒)

添い寝っていいよね。

布団って、それ自体は冷たいから。
いつまで経っても温まらない。

そういえば、貴方が添い寝してほしいって言うのって、平均でみれば……三日に一回くらいかな？

もっとだっけ？

数えてないからわからないけど…

毎日でもいいのに。

イヤなの？

（耳舐め5秒）

ダメになりそう？

（正面 密着）

ダメになろうよ。

ダメになって悪いことなんて何があるの？

誰が決めたの？

（耳舐め10秒）

（左 密着）

いろんなことがうまくいったらさ、貯金全部持って、物価の安い国に引っ越そうよ。

少し虫とか多いかもだし、料理は口に合わないかもしれないけど、

一生遊んで暮らそ？

仕事しなくて良くなって、ずっとぼけーっとしながら過ごそうよ。

（耳舐め8秒）

あるいはさ、ナイフ一本持ってジャングル生活しよ？

ヤバげな色の虫さん食べて「こいつぁ貴重なタンパク源だぜ……」ってカメラに向かって

囁きたいよね。

ついでに動画配信者やろーぜっ。十再生一円。

ごめん。流石にボケすぎた。

うん。

でもね、でもね。

たまに怖くなるんだ。

貴方、出かける時とか帰ってきた時、たまに辛くて泣きそうな顔してる。

そういう時、わたしが挨拶のちゅーをできる立場ならどんなに良いだろうって。でも、それは絶対にムリで。

……わたし、変なこと言ってる？

幽霊だったら、幽霊らしく、貴方を取り殺したほうが良いかな。

(耳ふー)

じゃあ、呪いの言葉をあげる。

死なないで。怖いのはやだ。

ずっとずっと健康でいて。

わたしと同じにならないで。

可能なら500歳まで生きて。

なんでだろうね。

たしかに普通に考えれば、同じになればずっと一緒になれる気がするんだけど…。
逆立ちしても、死んでほしいって気持ちが出てこない。

……んん……??? なんでだろうね……。

貴方に初めて見てもらえた時のことをよく覚えてるからかな。

はじめて貴方に見てもらった時ね、
寂しかったのがなくなったよ。

別に一人でも大して寂しくなかったけど、
一人でも寂しくなかったってことが、本当は、ちょっとだけ寂しかった。
それがなくなった。

あのままだといい感じに悟っちゃったと思うよ。

私は私という個体であり名前などいらない… みたいなね…。

だから…貴方がこの部屋にいてくれてよかった。

貴方が名前をつけてくれてよかった。

この広い日本で…というほど全国各地をイタズラしてまわってたわけじゃないけど、
なんで貴方だけがわたしを見れたんだろうね。

不思議。

何かあるのかなあ。

……どうしたの？　なんか、びみょーな表情だね。

何かあるんだろうな。

きっと、わたしと貴方の中には、特別ななにかが。

(耳舐め30秒)

まだ目が起きてるなら、一旦深呼吸でもしよっか？

ほらほら、吸って…、吐いて…。

深呼吸するたびに、眠くなるかもしれないし、眠くならないかもしれないけど、
寝っ転がってるだけで体は休めてるらしいから、これでオッケーらしいよ。

ただ、ちょっとずつ呼吸をゆっくりにすれば、
だんだん眠くなっていくかもしれない。

あとは、耳に集中してればいいよ。
そのうち、なんだか夜の中に溶けたみたいになって、
何もわからなくなるからね。

（耳舐め180秒）

何もわからなくなって。私以外何もわからなくなって。私と、ずっと一緒にいて。
でも、私が邪魔になったら、ちゃんといなくなるから。

（耳舐め180秒）

……え？ 羊？

いいよ。

数えてあげる。

羊がいつびき。羊がにひき。羊がさんびき。羊がよんひき。

羊がごひき。羊がろっぴき。

ひつ、じが……ななひき。

……。ひつじがはっぴき。

ひつじがきゅうひき。

もう寝てる？

夢うつつって感じかな。

えへへ。

大好き。

大好き。

好き、好き、好き。

がんばってるときの貴方が好き。あへあへ喘いでる貴方の表情が好き。休んでる貴方の
顔
が
好
き。

どうか貴方が、明日も幸せでありますように。

……ひつじがじゅっぴき。おやすみなさい。